

# 熊本地震からの創造的復興に向けた 「重点10項目」等の取組みの 進捗状況について

令和8年（2026年）4月

熊 本 県

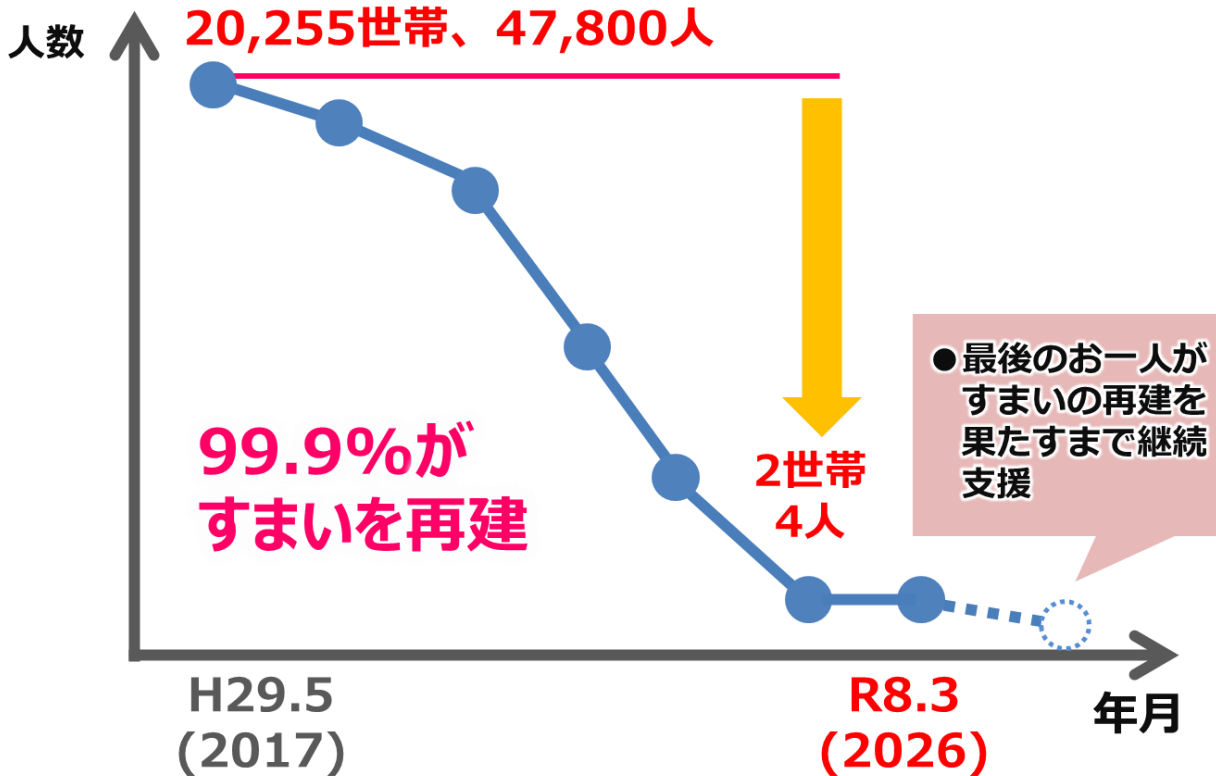
1. 「すまい」の再建（2026年度完了予定）
  2. 災害廃棄物の処理（完了）
  3. 阿蘇へのアクセスルートの回復（完了）
  4. 熊本城の復旧（2052年度完了予定）
  5. 益城町の復興まちづくり（2027年度完了予定）
  6. 被災企業の事業再建（2026年度完了予定）
  7. 被災農家の営農再開（完了）
  8. 大空港構想NextStageの実行（一部完了）
  9. 八代港のクルーズ拠点整備（完了）
  10. 国際スポーツ大会の成功（完了）
- 
11. 熊本地震震災ミュージアム（完成）
  12. ONE PIECE熊本復興プロジェクト（完成）

# 1. 「すまい」の再建

## 2023年3月末、災害救助法による応急仮設住宅の供与終了

- ・ ピーク時（2017年5月末）、20,255世帯、47,800人が仮設住宅に入居
- ・ 益城町の土地区画整理事業の影響により自宅再建ができない方々（2世帯、4人）には、県・益城町の独自支援により、仮設住宅よりも快適な住環境を提供
- ・ 今後も益城町と連携し、最後のお一人がすまいの再建を果たすまで支援を継続

### 仮設住宅入居者数



### 災害救助法から県・町の独自支援



仮設住宅から災害公営住宅へ無償入居



# 2. 災害廃棄物の処理

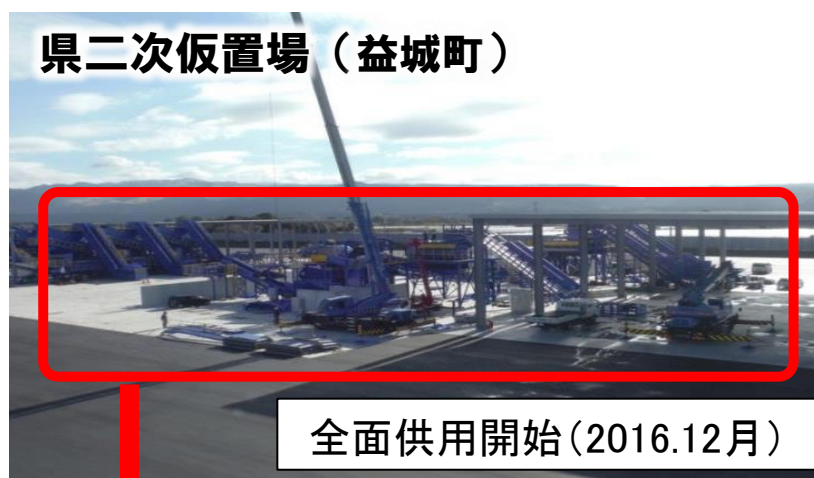
完了

◆2018年12月末に全ての市町村で公費解体と災害廃棄物の処理が完了。

①公費解体済数: 35, 675棟

②災害廃棄物処理量: 約311万トン 再生利用率: 78.2%〔目標の70%以上を達成〕

地震直後(2016年)



処理完了後



# 3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～道路～ **完了**

## 国道57号／国道325号阿蘇大橋の早期復旧

地震直後(2016年)



**2020年10月3日 開通**

**2021年3月7日開通**

現在



# 3. 阿蘇へのアクセスルートの回復～鉄道～

**完了**

P5

JR豊肥本線

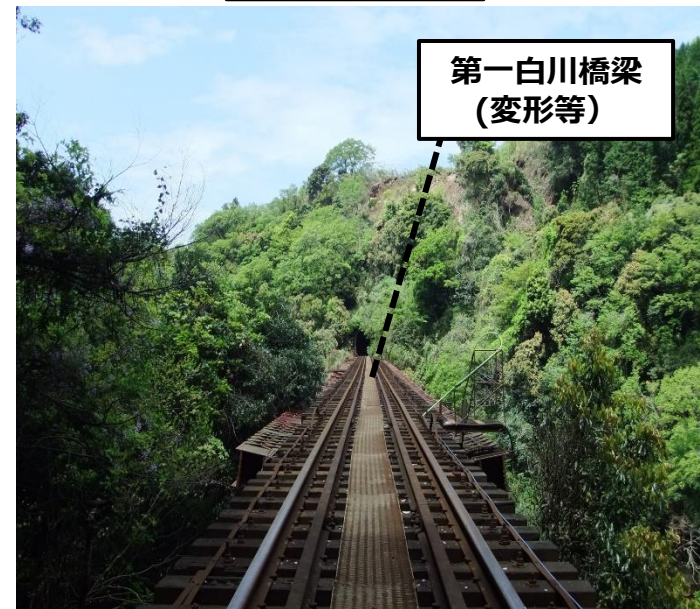


◀ JR豊肥本線  
沿線斜面崩壊等により  
肥後大津駅～阿蘇駅間が  
不通に

南阿蘇鉄道▶

トンネルや橋梁に甚大な被害  
が発生し、立野駅～中松駅  
間で運休

南阿蘇鉄道



地震直後  
2016年

現在



◀ JR豊肥本線  
2019年度末 国・県工事概成  
2020年8月8日  
全線運行再開

南阿蘇鉄道▶

2022年4月 (一社)南阿蘇鉄道管理機構設立、2022年度 復旧工事完了  
→ 2023年4月から上下分離方式に転換

**2023年7月15日全線運行再開、再開同時のJR豊肥本線乗入れ開始**



# 4. 熊本城の復旧

## 地震直後（2016年）



2016年4月22日 頼当御門から天守閣方面



2016年4月22日 飯田丸五階櫓被災状況

## 現在



解体後の宇土櫓



公開中の特別見学通路

### 【今後の復旧の見込み】

- ・ 2032年度 宇土櫓、本丸御殿の復旧完了
- ・ 2042年度 全ての重要文化財建造物及び主要区域の復旧完了
- ・ 2052年度 全ての復旧が完了

# 5. 益城町の復興まちづくり

完了

P7

## 県道熊本高森線 4車線化 (約3.8 km)

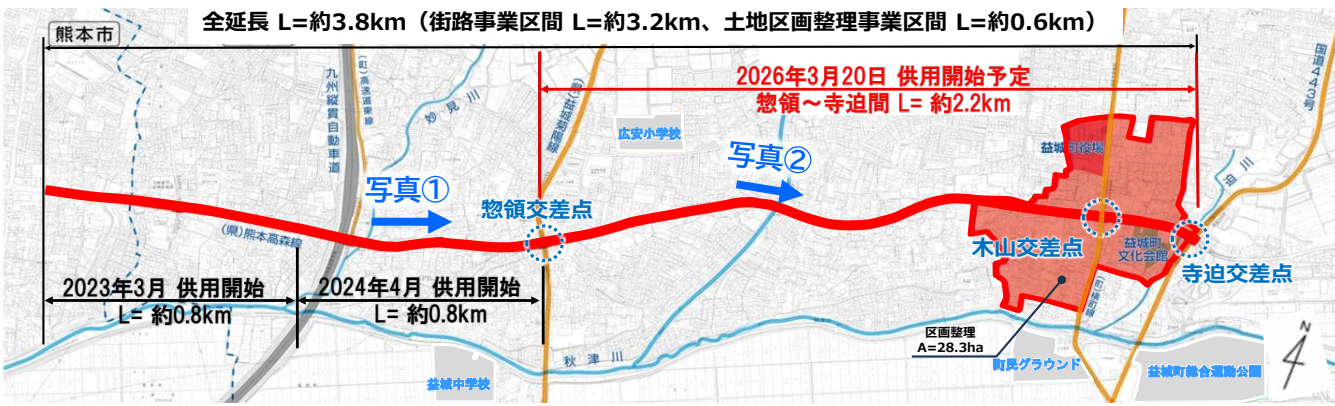
### 地震直後 (2016年)

地震で県道沿道の家屋等が倒壊し、緊急・応急活動等に大きな支障が発生



### 現在

・ 2026年3月20日に益城町惣領～寺迫間が供用開始し、事業計画区間約3.8kmの全線で供用を開始



4車線での供用状況



4車線化開通式

# 5. 益城町の復興まちづくり

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業 (約 28.3 ha)

2027年度事業完了を目標

## 地震直後 (2016年)

地震による家屋倒壊で生活道路の交通機能が喪失するなど、防災面の課題が発生



## 現在

- ・ 仮換地は全484画地を指定完了(2025年3月)、約8割(374画地)で宅地造成工事に着手、約6割(277画地)は権利者へ引渡し済
- ・ 事業区域内では、交通広場が供用開始(2025年4月)
- ・ 2027年度の事業完了に向けて、計画的に事業を推進



すまいの再建状況 (宮園地区)

木山初市の状況 (木山横町通り)

# 6. 被災企業の事業再建

## グループ補助金による復旧支援

グループ補助金により、被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備、並びに商業機能の復旧促進を支援（2026年3月末現在）

<p>506グループ認定 構成者数</p> <p><b>9,452</b> 件</p> <p><small>※補助金申請を要しないテナント等が含まれる</small></p>	<p>補助金申請件数 (予定含む)</p> <p><b>4,703</b> 件</p>	<p>補助金の交付決定</p> <p><b>4,701</b> 件</p> <p>交付決定済 99.9%</p>	<p>復旧完了</p> <p><b>4,700</b> 件</p> <p>復旧完了済 99.9%</p>
---	---	--	--

### 地震直後（2016年）

### 現在

～事業者復旧の一例～



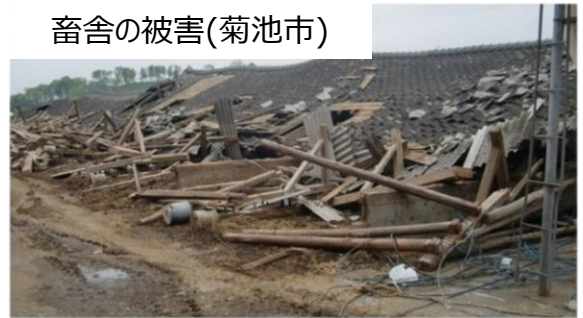
# 7. 被災農家の営農再開

完了

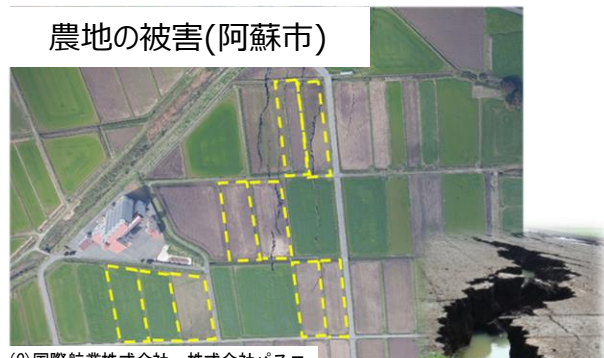
## 地震直後 (2016年)

地震により農地、農業用施設に被害が生じ、多くの農家が営農継続困難となった。

畜舎の被害(菊池市)



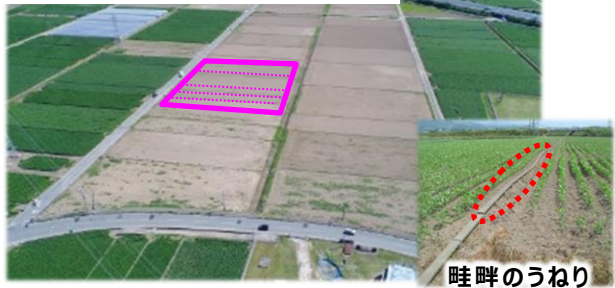
農地の被害(阿蘇市)



(C)国際航業株式会社・株式会社バスコ

農地の地割れ

農地の被害(秋津地区)



畦畔のうねり

創造的復興

## 現在

### 【進捗状況】

被災農家の営農再開：2020年末までに**営農再開100%**  
創造的復興による農地の大区画化：3地区で**施工完了**

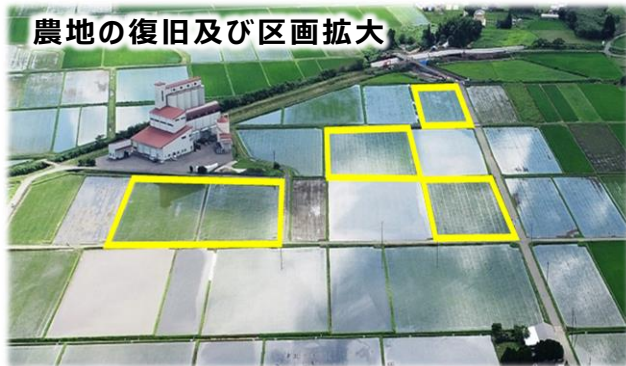
農業用施設 (畜舎) の復興



営農再開



農地の復旧及び区画拡大



農地の復旧及び区画拡大



**大区画化**  
被災前の5% ⇒ 81%  
**集積率**  
被災前の22% ⇒ 53%



秋津地区災害復旧事業竣工記念式典

# 7. 被災農家の営農再開

## 取組みの概要

- 熊本地震の農地等災害復旧事業については、**大切畑ダム（西原村）** 以外は**全て完了**し、**大切畑ダムについても熊本地震からの復旧の「総仕上げ」として、2026年度の供用開始**に向けて最後まで着実に工事を実施。
- 今後とも、町村と密に連携し、生産者の意向に沿えるよう最善を尽くして参ります。

## 大切畑ダム（西原村）の取組み



ダム工事の実施



洪水吐 (2026.2時点)



大切畑ダム完成イメージ



2026年度供用開始見込み

# 8. 大空港構想NextStageの実行

## コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興

完了

### 地震直後からの取組み（～2022年）

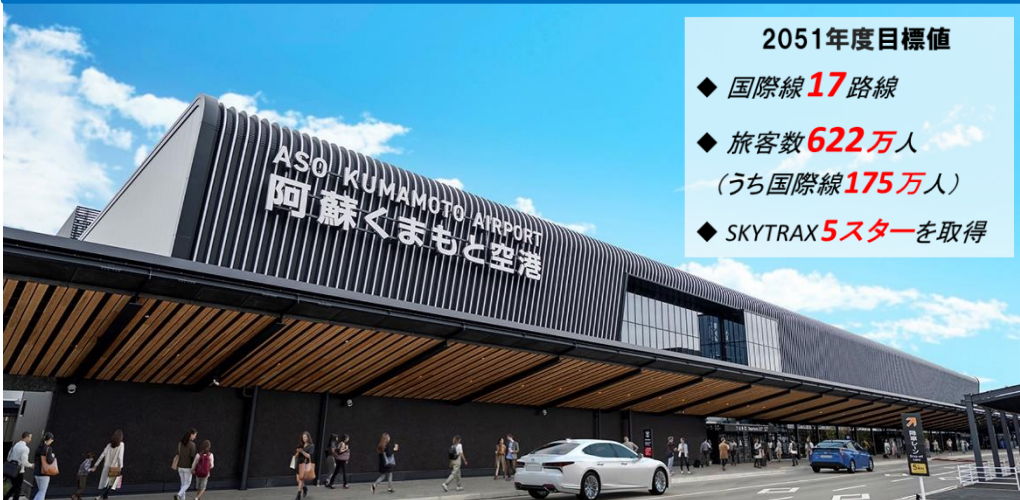


2016.12  
コンセッション方式  
による国内線・国際線  
ターミナルビルの一体的  
整備・耐震化を表明

- 2019.3 優先交渉権者選定（代表企業：三井不動産（株））
- 2019.4 空港の運営会社となる熊本国際空港（株）設立
- 2020.4.1～ 熊本国際空港（株）による空港運営事業開始
- 2020.4.7～ 国内線別棟ビル供用開始
- 2021.1.15～ 新旅客ターミナルビル着工



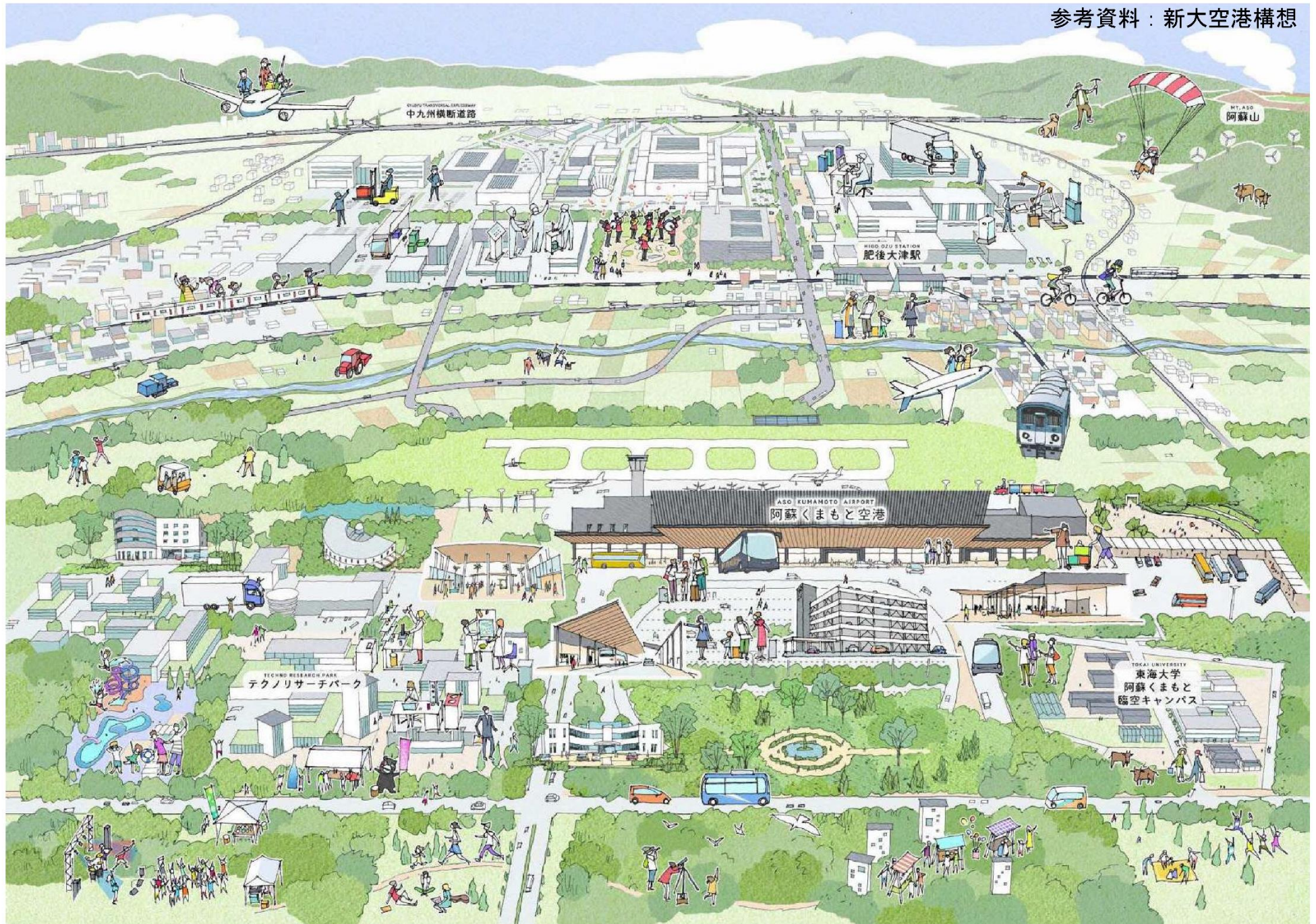
### 2023年3月23日 国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル供用開始



- 2051年度目標値
- ◆ 国際線**17**路線
  - ◆ 旅客数**622**万人  
(うち国際線**175**万人)
  - ◆ SKYTRAX**5**スターを取得







# 9. 八代港のクルーズ拠点整備

完了

P15

国

- ①クルーズ専用岸壁  
(一部耐震強化岸壁)【延長410m】
  - ・年間365日の受け入れが可能
  - ・世界最大22万t級のクルーズ船受け入れが可能

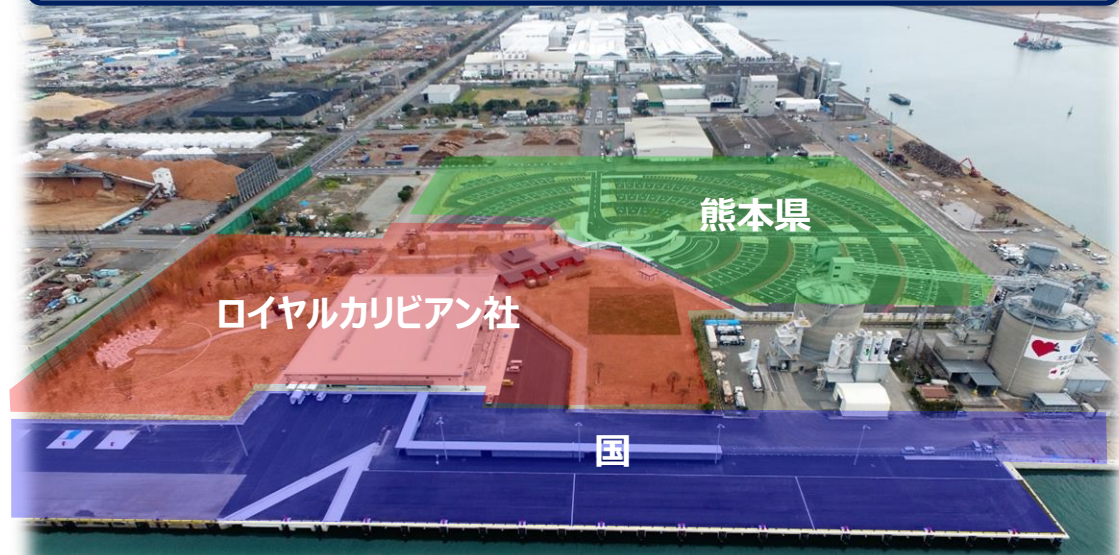
ロイヤルカリビアン社

- ②旅客ターミナル  
【延べ床面積 約3,600㎡】
  - ・出入国時の手続き時間等が短縮
- ③くまモンパーク
  - ・ビッグくまモン (6m)
  - ・日本庭園
  - ・くまモン合唱隊 (54体) など

熊本県

- ④駐車エリア【面積約4.4ha】
  - ・大型バス 最大150台の駐車可
  - ・乗用車等 最大600台の駐車可

くまモンポート八代 (2020年3月完成)



# 10. 国際スポーツ大会の成功

完了

## 2019女子ハンドボール世界選手権大会

2019年11月30日(土)～12月15日(日) 県内5会場

《参加国》 24カ国 計96試合

■ 大会結果(順位) 日本10位！



優勝 オランダ 写真提供:JHA

観戦者数 315,748人



準優勝 スペイン



3位 ロシア

### ■ 経済波及効果

2019女子ハンドボール世界選手権大会開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※( )は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
98.52億円 (91.58億円)	81.93億円 (76.35億円)	16.60億円 (15.23億円)

## ラグビーワールドカップ2019™

熊本で2試合開催



フランス v トンガ  
・2019年10月6日(日)  
入場者数: 28,477人



ウェールズ v ウルグアイ  
・2019年10月13日(日)  
入場者数: 27,317人



### ■ 経済波及効果

ラグビーワールドカップ2019日本大会熊本開催に係る経済波及効果

経済波及効果 ※( )は試算時	第一次波及効果	第二次波及効果
106.76億円 (97.91億円)	89.65億円 (82.23億円)	17.12億円 (15.67億円)

## 熊本地震関連の資料を記録・整理・蓄積し後世に遺す

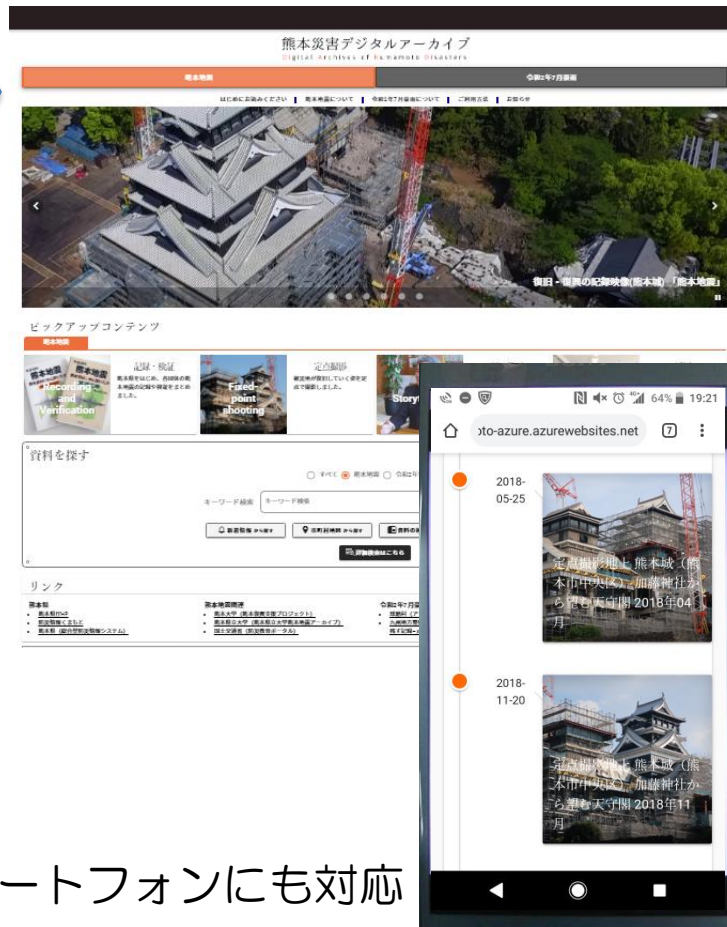
### 行政機関、大学、企業、 団体等の協力を得て収集

- 災害対策本部会議資料
- 被害、避難生活、復旧・復興などの写真
- 各団体がまとめた検証・記録など



### 専用のウェブサイトで公開

<https://www.kumamoto-archive.jp/>



### 利用

- 防災・減災対策
- 教育、研究
- アーカイブサイト内の資料を使用した啓発映像の制作など



スマートフォンにも対応

- 2025年3月末で約21万点の資料を掲載
- 知事・市町村長インタビューや啓発映像なども掲載

# 【熊本地震震災ミュージアム】

完成

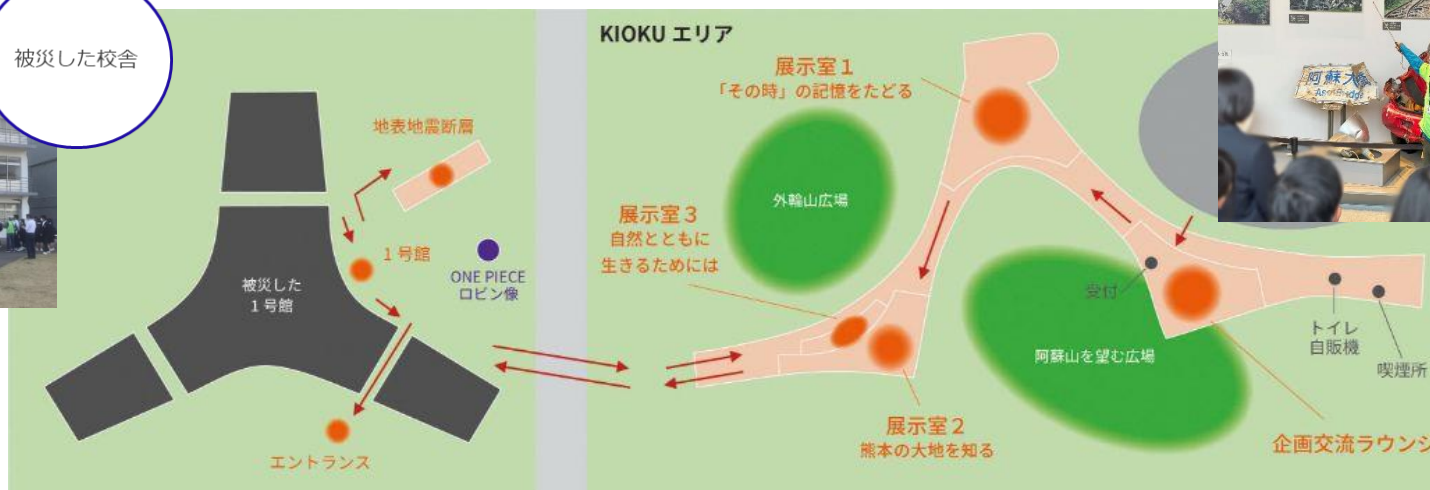
## 体験・展示施設「KIOKU」

熊本地震の記憶や経験、得られた教訓を後世に伝えるため、震災ミュージアムの中核拠点（南阿蘇村）に2023年7月15日、KIOKU（展示施設）をオープン

各種解説映像や震災遺物の展示、語り部との交流などを通して、熊本地震を追体験するとともに、地震の発生メカニズムや熊本地震から得られた教訓を分かりやすく伝える。



被災した校舎



熊本地震の震災遺物実物展示



ロビン像



地震の教訓を自分事化するパネル展示

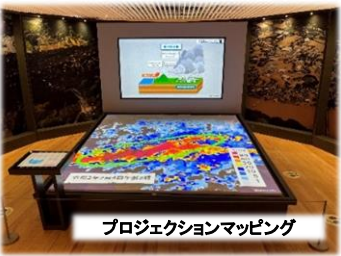


地形ジオラマと熊本の自然の魅力解説展示

# 【熊本地震震災ミュージアム】防災センター **完成** P19

県防災センター 1階展示学習室に2023年5月17日オープン

- 熊本地震や令和2年7月豪雨など本県の過去の自然災害による被害状況や、災害発生のメカニズム、防災の取組などを、展示パネルやプロジェクションマッピング、VRなどで紹介。
- 防災講話も実施しており、学生、地域の自治会や自主防災組織など、来室者の希望に合わせた研修コースをスタッフが案内。
- 過去の災害の経験・教訓を次の世代に引き継ぎ、自然を守り、自然を正しく畏（おそ）れ、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないようにすることを目的として、「くまもと防災宣言」を策定。



## くまもと防災宣言

私たちは、近年の世界的な異常気象の中、平成24年熊本広域大水害や平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨と何度も大きな災害にあってきました。

そのたびに、混乱と戸惑いを経験しながらも、みんなで手を取り合い、苦難に立ち向かっていきました。

この経験や教訓を次の世代に引き継ぎ、自然を守り、自然を正しく畏（おそ）れ、ひとりひとりが取るべき行動を学び、忘れないようにするとともに、地域の中でつながり、防災の取組を続けていくことが重要です。

そこで、ここに「くまもと防災宣言」を定めます。

- ひとりひとりが、災害から自分の命を守るため、**早めの避難を心がけます**
- もしもの時に備えるため、**家族や地域で話し合います**
- 困っている人を支えるため、**地域で声を掛け合います**
- 誰一人取り残さない社会を実現するため、**県民総ぐるみで防災活動に取り組みます**

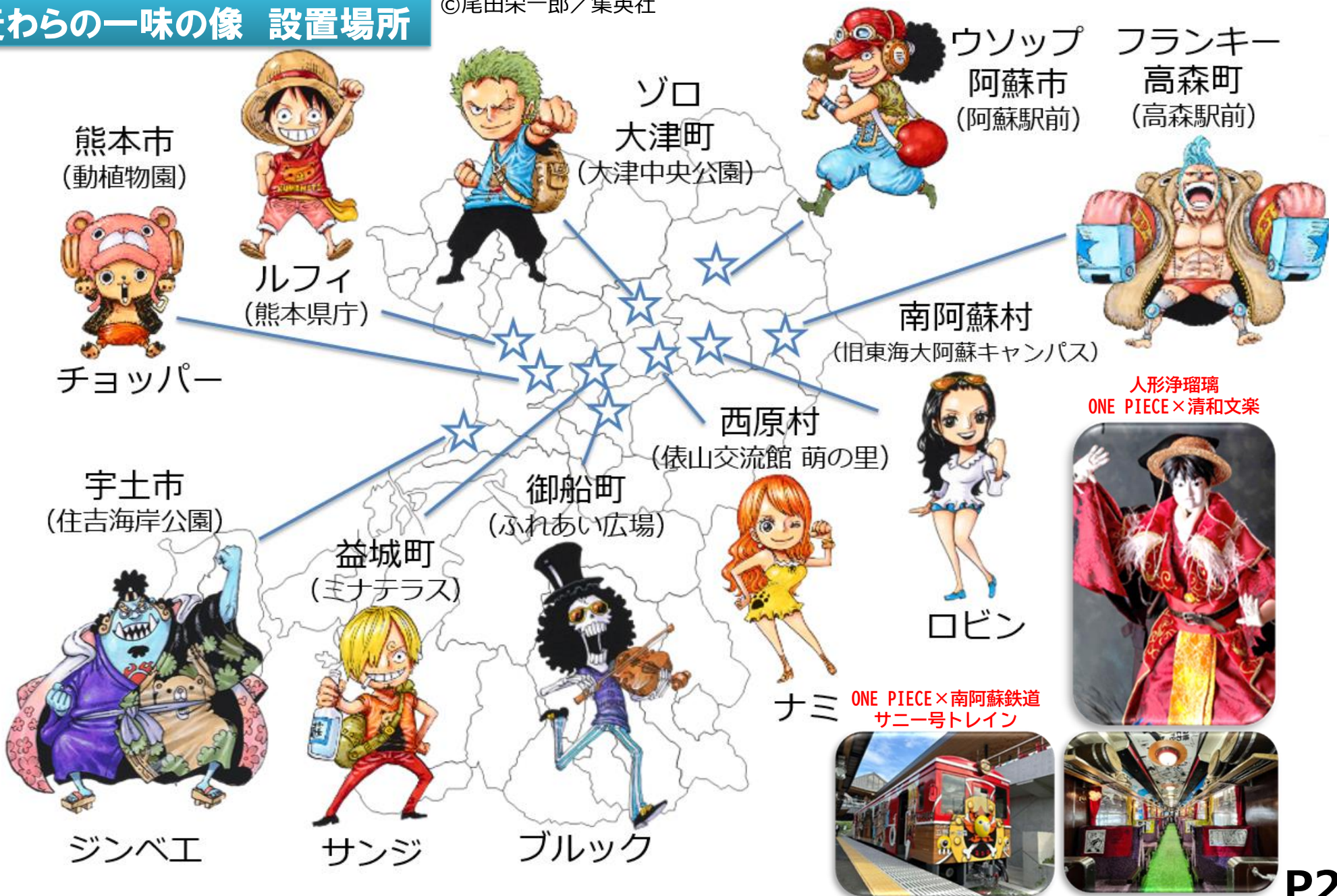
**命と自然を守る**

# 【ONE PIECE熊本復興プロジェクト】

完成

## 麦わらの一味の像 設置場所

©尾田栄一郎/集英社



～誰一人取り残さないくまもとづくり～

既に完了したもの  
今後完了予定のもの

項目名 [担当部]	蒲島県政3期目				蒲島県政4期目				木村県政1期目			
	H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度		
① 健康福祉部、土木部 「すまい」の再建		H29.5 【ピーク時】 20,225世帯 47,800人	すまいの再建6つの支援策、 個別・重点的な対応、見守り体制の強化	R2.3末 1,296世帯 3,122人	R3.3末 150世帯 418人	R4.3末 37世帯 95人	R5.3末 5世帯 10人	R6.3末 2世帯 4人	R7.3末 2世帯 4人	R8.3末 2世帯 4人	2026年度 完了	
		H28.11 応急仮設 住宅 (4,303戸) 整備完了		R2.3末 災害公営 住宅 (1,715戸) 整備完了		益城町の土地区画整理事業(2027年度事業完了)など 公共工事に関する世帯の再建				R8.3 土地区画整理事業における2世帯 の宅地引渡し完了		
② 環境生活部 災害廃棄物の処理 完了		公費解体		H30.12 災害廃棄物 処理完了								
		災害廃棄物 処理、 公費解体		二次仮置場の廃棄物 処理プラントは岡山県 で再活用								
重点10項目 ③ 土木部、企画振興部、農林水産部 阿蘇への アクセス ルート (道路、鉄道) の回復 完了	道路	【R57】 北側復旧 ルート	無人施工		R2.10.3 開通							
		【R57】 現道部	無人施工		R2.10.3 開通							
		【R325】 阿蘇大橋 ルート	橋梁工事着手		R3.3.7 開通							
		俵山 ルート	暫定開通	R1.9.14 開通								
	鉄道	JR 豊肥本線	県砂防・治山工事の実施		R2.8.8 運行再開							
		南阿蘇鉄道	【JR】豊肥本線復旧事務所の設置、 JR復旧工事(肥後大津駅～立野駅間の先行的な復旧工事)					R4.4.1 (一社)南阿蘇鉄道 管理機構 設立	R5.4.1 上下分離 開始	R5.7.15 全線運行再開		
			再生協議会設立、国の支援スキーム決定、復旧工事(立野駅～中松駅間)									
④ 教育庁、土木部 熊本城の復旧 完了	天守閣等 重要文化財 等	熊本城復旧 基本方針の 策定(市)	復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援	R1.10.5 特別公開① (大天守外観)	R2.6.1 特別公開② (特別見学 通路)	R3.6.28 特別公開③ (天守閣 内部公開)		熊本城 復旧 基本計画 の改定(熊 本市)	R5.12 重要文化財 監物修復完了	R6.1 重要文化財 宇土櫓解体修理開始	2052 年度 復旧完了	
			復旧工事(市)、災害復旧に伴う財政的支援		R3.1末 重要文化財 長期復旧完了							
⑤ 土木部 益城町の 復興まちづくり 完了	熊本高森線 4車線化	H29.2.3 都市計画 決定	H29.3.10 事業認可	H30.4.1 益城復興 事務所 開所	H31.1～ モデル 地区 先行整備	R2.3末 モデル 地区 完成	用地買収促進 歩道部整備	R4.5末 益城町 惣領 にぎわい 拠点 オープン	用地買収 95% 工事促進	用地買収 90% 工事促進	R6.4.14 惣領交差点迄 4車線で 供用開始	2026.3.20 全線供用開始
	益城中央被災市街地復興土地区画整理事業	H30.3.8 都市計画 決定	H30.10.5 事業計画 決定	R1.6末 仮換地 指定	R1.11～ 工事 着工	R2.6～ 宅地 引渡し	仮換地指定70% 造成工事、宅地引渡し	R4.4.1 益城町 復興 まちづくり センター オープン	仮換地指定85% 造成工事 宅地引渡し	R5.3.28 益城町 新庁舎 完成	R8.3末(見込み) 仮換地指定 100% 宅地造成着工 77% 宅地引渡し 57%	2027 年度 完了

項目名 [担当部]		蒲島県政3期目				蒲島県政4期目				木村県政1期目		
		H28(2016)年度	H29(2017)年度	H30(2018)年度	R元(2019)年度	R2(2020)年度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	
⑥ 商工労働部	被災企業の事業再建	グループ補助金による施設・設備の復旧										2026年度末復旧完了
		R2.3末 交付決定率: 99.7% 事業完了率: 98.9% R3.3末 交付決定率: 99.8% 事業完了率: 99.7% R4.3末 交付決定率: 99.8% 事業完了率: 99.8% R5.3末 交付決定率: 99.9% 事業完了率: 99.9% R6.3末 交付決定率: 99.9% 復旧完了: 99.9% R7.3末 交付決定率: 99.9% 復旧完了: 99.9% R8.3末 交付決定率: 99.9% 復旧完了: 99.9%										
⑦ 農林水産部	被災農家の営農再開 <b>完了</b>	大豆転作等で営農継続支援										
		R2.3末 営農再開率: 99.8% R3.3末 営農再開率: 100%										
⑧ 企画振興部	大空港構想 NextStageの実行 新ターミナルビルの整備等 <b>完了</b> 空港アクセス鉄道整備	「大空港構想 NextStage」策定 コンセッション方式導入表明 H31.3 優先交渉権者決定 R1.7~ 運営権者によるビル事業開始 R2.4~ 運営権者による全事業開始 R2.4.7 国内線別棟ターミナルビル供用開始 R3.1 新ターミナルビル着工 R5.3.23 新ターミナルビルオープン										2027年度整備着手予定
		交通システムの比較検討、鉄道整備の概略調査 鉄道整備に関する基本的方向性をJR九州が同意 鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望 R2.12~ 空港アクセス検討委員会開催 鉄道整備に関する詳細調査、国へ財政支援等要望 三里ルートに加え、原水ルート、肥後大津ルートの追加調査 R4.12 肥後大津ルートに整備方針決定 鉄道線形検討等の鉄道概略設計事前調査の実施、環境アセスメント等の手続きを実施 R7.1 環境アセスメント方法書に対する知事意見の受領 R7.6 整備ルートの絞り込み案を公表 R7.9 概算事業費や需要予測、B/C(費用便益分析)等を公表 R7.12 都市計画案を公表して鉄道ルート(線)を提示										
⑨ 土木部、観光文化部	八代港のクルーズ拠点整備 <b>完了</b>	H29.1 「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に選定 H29.7 「国際旅客船拠点形成港湾」に指定 H30.2 八代港クルーズ拠点形成協定の締結(国・県・RCL) (国)クルーズ船専用岸壁(県)駐車エリア、屋根付き通路等(RCL)旅客ターミナル、おもてなしゾーン H30.12 三者で基本計画発表 R2.3 くまモンポート八代完成 R2.10.31 ~ プレオープン(県民向け公園として開放) R3.10.23 ~ フルオープン(土日のみ) R4.4.1~ フルオープン(平日含)										
⑩ 観光文化部	国際スポーツ大会の成功 <b>完了</b>	2019女子ハンドボール世界選手権大会 H30.11.30~12.9 アジア選手権大会 R1.11.30~12.15 本大会										
		ラグビーワールドカップ2019 R1.9.20~11.2 本大会(10/6、13熊本会場)										
⑪ 知事公室、観光文化部	熊本地震震災ミュージアム <b>完成</b> 中核拠点の整備	R1.9 震災ミュージアム基本計画策定 R2.8~ 震災遺構(旧東海大学の校舎・断層)の一般公開 旧東海大学 体験・展示施設の整備 防災センター(1階) 展示スペースの整備 ・旧東海大学 体験・展示施設完成(R5.7.15オープン) ・防災センター 展示スペース完成(R5.17オープン)										
		R6.4.14 熊本地震から8年 R7.4.16 くまもと防災ウィーク R6.8.10~8.11 KIOKU開館1年イベント R7.8.23~8.24 KIOKU開館2年イベント										
⑫ 観光文化部	ONE PIECE 熊本復興プロジェクト <b>完成</b> 像の設置	ルフィ像(県庁) サンジ像(益城町) ウソップ像(阿蘇市) チョッパー像(熊本市) ブルック像(御船町) フランキー像(高森町) ナミ像(西原村) ロビン像(南阿蘇村) ソロ像(大津町) ジンベエ像(宇土市) 完成 南鉄全線再開 R5.7.22~ コラボ列車・サニー号 R6.3.30~ ONE PIECE×清和文楽 定期公演開始 熊本の伝統文化・芸能とONE PIECEとのコラボ(地域の魅力創造プロジェクト)										
		R7.4.26~ 妻わらの一味像周遊バスツアー運行開始 R6.12.2 大海賊百景設置 R8.3.20~R8.5.24 ONE PIECE 熊本復興プロジェクト10年展開催										